（第３種郵便物認可）

# 私たちの環境は

## アドバイザーからの提言 ■7■

【とまる・よしお】県環境アドバイザー連絡協議会副代表。CCC自然・文化創造工場会員。渋川市中村。64歳。

# ペットボトルのリサイクル

## 制度の再構築必要

### 販売価格、税制見直しも

昨年10月6日付上毛新聞社会面の「ペットボトル回収で市町村、集まり過ぎて悲鳴」の記事はショッキングだった。ペットボトルの集まり過ぎは渋川地区特有の一時的な現象と思っていたからだ。

渋川地区広域圏では昨年6月からガラス瓶とともにペットボトルの回収が始まった。回収が順調に立ち上がって関係者はほっとした。多くの家庭で回収の開始に備えてため込んでいたので、当初の集まり過ぎ傾向は当然のように思えた。

ところが、その後も月2回の回収日にはどこの回収場所も集まったペットボトルがあふれている。このため、これを清掃センターまで運ぶ業者が悲鳴を上げた。ペットボトルの回収を推進している団体の責任者も「何のためにやっているのか分からなくなった」と嘆く。

ペットボトルの集まり過ぎが全国的な問題だと知るに及んで、このリサイクル制度を導入した判断の誤りを指摘せざるを得ない。問題点は2つある。

1つはこの制度が継続的に循環する体系になっていないことである。リサイクルと言うからにはどんな形であれ、ごみとなるペットボトルが収され、急激な規模の変化を伴わずに再資源化される体系でなければならない。

残念ながら、便利なペットボトルがリサイクルに適した規模を超えて大量消費され、空き瓶が増え続ける事態をだれも予見できなかった。

もう1つの問題点は、このリサイクルのために税金がつぎ込まれることに対する不公平感である。

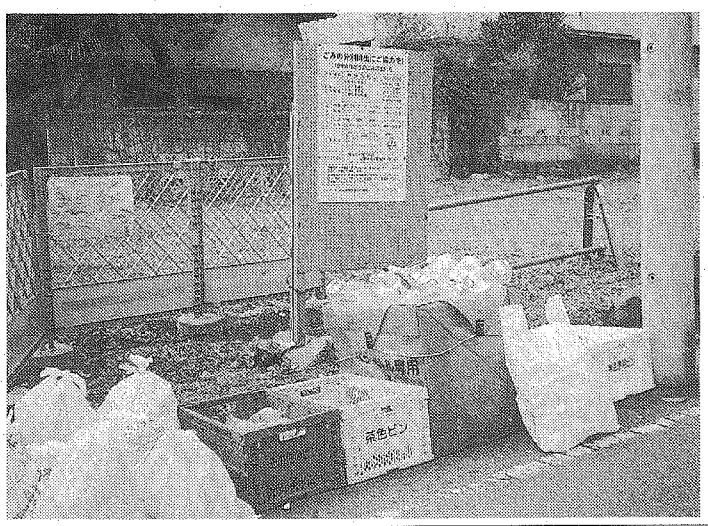
多くの消費者がごみの減量化に日々努力している。その一方でペットボトルを無意識に使い捨てる消費者がいる。これの処理のために税金が使われるのである。

たとえ当該体系が正常に機能したとしても不公平感は免れない。本来、この制度は受益者の負担で維持されるべきものではなかったか。

今後、自治体財政を圧迫することになりかねないペットボトル回収の問題を解決するためには、その消費者の減少につながり、かつ受益者負担の原則を取り入れた、継続的循環型リサイクル制度の再構築が必要であろう。そのための販売価格と税制の見直しが不可欠と思われる。

さらに、消費者のペットボトルのリユースを可能にするような、液体自動販売機など別な有効手段の併用が望まれよう。間違っても埋め立てや焼却処理に逆戻りしてはならない。広く県民に呼び掛けてリサイクル体系再構築のアイデアを募集したらどうか。

（都丸　臧雄）



**長年親しんだ着物が、こんな洋服に変身。着物のリメークが人気を呼んでいる＝東京・渋谷の東急百貨店本店**

メークに取り組んでいる。営業担当の松永哲夫さんは「『死んでいる着物を生き返らせたい』というお客さまの要望がビジネスの出発点です。中には『親の形見ですが…』と持ち込まれる切にしたい」という考え方の広がりを実感させる。

◇　◇

「からくさ」は☎03・3940・6670、「エド・サワヤ」は☎03・3444・2041。

## 暮らしのアドバイス

### 火災を防ぐ心がけ

### てんぷら油は370度で自然発火

空気が乾燥しているこの時期、火の始末は厳重に。調理中は火のそばから離れないのが鉄則ですが、てんぷら油は370度前後で自然発火するので、来客や電話など、一瞬でも目を離すときは火を消してください。灰皿には水をはり、寝たばこや歩行中の喫煙は厳禁です。暖房器具は燃え移りやすいものの近くに置くのを避け、就寝前や外出前は消火を確認します。

プラグの過熱・発火を防ぐため、使わない家電製品のプラグはコンセントから抜き、定期的清

しょう。放火

て、家の周り

づけ、燃えや

## 献立のヒント

4人前で木綿豆腐2丁、生シイタケ中8個、つみれ8個、ショウガ1かけを用意します。

豆腐は1丁を

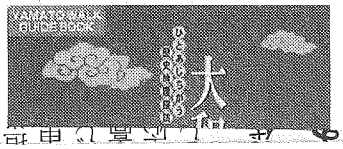
すのこの上に

のせ、水分を

切ります。生

づきを切りま

「チェルノブイリからの伝言」の表




「大和を歩く」

最新

HP情

日本文化の

の各地を散策

たりの「大和

良新聞社刊・